

中村顧問新春講演会

1月19日 於 京都産業21リサーチパーク

(株)木村製作所 木村俊彦

1月19日(月)財団法人 京都産業21様にて、中村顧問新春例会を開催致しました。「パネル & ベイエリアの現状と課題」～中小製造業は、どう生き残るのか～というテーマに基づいてご講演頂きました。

サブプライム問題やリーマンショックに端を発した世界金融危機が实体经济を脅かす大事態となり、我々日本のものづくり業界も現在、この直下型の不景気に対応することが非常に困難な状況であります。

米自動車業界ビックスリーをはじめ、日本の自動車業界全てが危機に陥り、またこれら裾野の広い業界の危機は更に我々ものづくり製造業の経営を苦しめている状況です。

また、最近では、石油価格高騰や以前から注目されている地球温暖化防止対策、低炭素化社会の実現に向けて、環境をテーマにした取組みが各業界にて急ピッチで進んでいる。今後においては、自動車業界を例に挙げても、ガソリンエンジンのような化石燃料を使用するエンジン構造体から電気(リチウムイオン電池)で動く電気自動車や燃料電池の開発に移行していくであろう。

その為、今回の景気が仮に回復したとしても、従来型の産業構造は大きく変化するだろう。先に述べたように全世界が環境をテーマにした取組みをしていく中で、我々中小企業はこれからどこに向かえばいいのだろうか？

確かに環境(ECO)という大きなテーマはありますが、あまりにも漠然としていて何に取り組めばいいのかわからない状況です。今後の中小企業は研究開発に対応できる企業体質をつくっていかねばならない。そして我々中小が自らの力で、新しい分野に挑戦していかねばいけません。

今こそ機青連の連携を上手く活用していかねばならない。今回のご講演で、今後の中小企業の進むべき道へのヒントやキーワードを頂き、大変勇気づけられるお言葉を頂けた例会でした。最後になりますが、当日場所を提供頂きました(財)京都産業21様大変お世話になりありがとうございました。

